

記入日：令和2年 11月13日

所在地（都道府県/市町村）：愛知県名古屋市		
法人名：社会福祉法人ゆたか福祉会		
施設・事業所名：ワークセンター フレンズ星崎	担当者名：山崎利浩	
事業種類：生活介護・就労継続支援B型・就労移行支援		
主たる障害：知的障害		令和2年3月末現在 定員：36人
TEL：052-824-4450	FAX：052-824-4480	E-mail： hoshizaki@piano.ocn.ne.jp

① 令和元年度までの主な取り組み内容

ダイレクトメールの発送作業

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

4、5月は取引先が休業したために、予定されていたダイレクトメールの仕事が次々にキャンセルになった。数日にわたって作業が途切れてしまう事態になり、売上は前年度と比べて4月で35%減、5月で23%減という状況。現在は売上も回復しつつある。

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

事例タイトル：感染予防マニュアルなどの作成

取り組み内容：

- ・感染予防マニュアルと事業継続計画の作成
- ・館内の換気、消毒
- ・時間差で昼食をとり、食堂での3密をさける
- ・外出行事の見直し

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

市中に感染が広がってくるなかで感染予防につとめながら、感染者等が確認された場合について検討しておく必要があった。事業所が休止した時の利用者支援や受注済みの仕事にどう対応するかなど検討し、事業継続計画を作成した。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

緊急時、他事業所に職員の応援を要請したり、メール事業の取引先へ連絡する体制など事前に対応を整理できた。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

- ・消毒液やマスクの備蓄や空気清浄機の購入をすすめた。

⑦ 今後の課題・展望

- ・引き続き、感染予防対策を講じていく。
- ・営業活動を再開して新規受注を開拓していく。



